

自由な表現とコミュニケーションの1手段としてラジオ放送を始めるためのワークショップ。法律の範囲内で放送できる低出力のトランスミッター（送信機）を製作し、民主的メディアとしての放送の可能性を探るとともに、既成のラジオ観にとらわれない電波と音声による実験を行う。それは、電話やビデオ・ネットワークなど他のメディアを使った表現の準備にもなるだろう。

講師：粉川哲夫(メディア評論家)
「ラジオ・ホームラン」メンバー

4月28日：エレクトロアート入門

ワークショップ全体の展望を示すとともに、自由ラジオの理念、歴史を粉川氏がレクチャー。都市論的視点で秋葉原を探索し、材料を購入。トランスミッターの製作を開始する。
(13:00~21:00)

4月29日：自由ラジオ・ワークショップ

トランスミッターを完成し、ラジオ局を開局する。電波と音声による実験を行い、自由な表現とコミュニケーションの方法を探る。
(14:00~21:00)

定員：30名(要申し込み)
グループでの参加、トランスミッターを製作しない人の参加も受けつけます。
参加費：1000円(2日間通し)

※トランスミッターを製作する場合は、別に材料費として約3000円と工具（20~30Wの半田こて、ニッパー、ラジオペンチまたはピンセット）が必要です。工具は参加者の持参を原則としますが、多少の貸し出しを予定していますので、申し込みの際に問い合わせてください。当日、秋葉原で購入することもできます。また、29日には、ポータブルのFMラジオをお持ちください。

【自由ラジオ】
70年代後半、イタリアのアウトノミア運動の中で始められた連帯・共生のラジオ。そこでは、国家・企業と孤立化させられた市民を結びつける管理装置としてではなく、市民の間に横の関係をつける新しいコミュニケーション手段として、ラジオは考えられていた。イタリアの自由ラジオは、フランス、アメリカ、ドイツなどに波及し、数多くの自由ラジオ・テレビ局が作られている。日本では80年代前半に、いわゆるミニFM局が多数開局したが、その中で、「セタカヤ・ママ」「ラジオ・コ・メディア」など、いくつかの放送局が自由ラジオを名乗っている。



会場：美学校
千代田区神田神保町2-20 第2富士ビル3F
Tel.03(3262)2539

主催：ラジオ・ホームラン 自由国際大学
協力：美学校
申し込み先：Tel.03(3430)5254 オオエノキ